

パブリックコメントの結果公表

- ・政策等の名称

成田市地域公共交通網形成計画（骨子案）

- ・意見等の募集期間

令和2年3月16日 から 令和2年4月15日

- ・意見等の件数

9件 （3人）

- ・担当課

都市計画課（電話：0476-20-1560）

成田市地域公共交通網形成計画（骨子案）について提出された意見と市の考え方

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>『地域の特性及び地域公共交通の現状』</p> <p>久住地域について、この地域は全域が元々農村部であったが、駅の北側を宅地開発し市街地（久住中央）ができ、若い世帯や子供が多く居住している。小中学校では、大半が久住中央に居住する児童生徒である。また、駅にも大部分が徒歩圏内となっている。このようなことから、久住地域についてはこの市街地と農村部を分けて現状と課題を論ずる必要がある。</p>	<p>「地域の特性及び地域公共交通の現状」につきましては、市街地と農村部の人口分布や施設の立地状況などを整理し、それを基に市内を大きな区分で分け、網羅的に示しているものであります。久住地区につきましては、JR久住駅が交通結節点となっており、市街地と農村部を区分して、交通ネットワークを考えることは難しいため、JR久住駅を中心とした地域全体で交通利便性の確保を検討してまいります。</p>
2	<p>『地域の特性及び地域公共交通の現状』</p> <p>車を持たない高齢者の安心・安全な外出環境の確保が課題である。玉造地区からイオンモール成田周辺及び成田国際文化会館へ出向くには、路線バスでJR成田駅西口まで行き、徒歩で京成成田駅参道口へ移動しイオンモール成田行きの路線バスへの乗り継ぎが必要になる。更にそこから成田国際文化会館へ行くには、徒歩で往復30分の時間を要する。</p> <p>そのような問題を緩和する一案として、県道成田安食線へ新たに接続した市道ニュータウン中央線の有効活用</p>	<p>新たなバス路線の開設につきましては、現在の利用状況や地域のニーズだけではなく、今後のまちづくりの変化や人口動向も含めて、公共交通全体の見直しを行う中で、効率的かつ効果的な公共交通の構築に向け、関係事業者と協議を図りながら検討してまいります。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
	と、廃止になったサークルバスのルートを参考に、ニュータウン地域とイオンモール成田及び成田国際文化会館を結ぶ一連の公共交通バス路線の新設を要望する。	
3	『地域の課題及び地域公共交通の課題』 コミュニティバスと民間バスのルート重複について、実際は通行する道路の重複であってバス停は重複していない。ルート重複の表現はふさわしくないのではないか。	コミュニティバスと民間バスとのルート重複につきましては、公共交通における経路又は路線の考え方として、バス停が重複していなくても、同じ道路を複数の公共交通が通行している場合は、ルートが重複しているとしております。
4	『地域の課題及び地域公共交通の課題』 コミュニティバスについて、保健福祉館から成田赤十字病院の間に停留所を設けてほしい。また、成田赤十字病院に停車するバスを増車してほしい。	コミュニティバスの運行につきましては、民間交通事業者の経営に影響を与えないよう配慮する必要があり、ニュータウン地区においては、停留所の設置を保健福祉館のみとする合意がなされております。 公共交通全体の見直しを行う中で、関係事業者と協議を図りながら、既存交通との共存、利便性の向上に向け検討してまいります。
5	『地域の課題及び地域公共交通の課題』 成田市オンデマンド交通について、令和2年4月より月8回の利用上限が設けられたが、撤回してほしい。	成田市オンデマンド交通の利用回数の上限設定につきましては、限られた運行資源の中で、利用の公平性を補い、多くの対象者にご利用の機会を持っていただくことを目的として、実証実験の一環として導入したものです。

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
		<p>今後も利用動向などを検証しながらオンデマンド交通の運行方法やサービスのあり方を検討してまいります。</p>
6	<p>『地域の課題及び地域公共交通の課題』 成田市オンデマンド交通について、近隣自治体から見ても、利用料金1回500円は高額であるため、値下げしてほしい。</p>	<p>成田市オンデマンド交通の利用料金につきましては、市内の民間交通へ与える影響を配慮し、地域公共交通会議の承認を得て決定しております。</p> <p>今後、公共交通全体の見直しに併せて、オンデマンド交通の運行方法やサービスのあり方を、地域公共交通会議において理解を得られるよう検討してまいります。</p>
7	<p>『地域の課題及び地域公共交通の課題』 成田市オンデマンド交通について、市外の病院等に行きたい場合でも、市内で下車しなくてはならない。高齢で歩くのが大変であるため、目的地での下車を検討してほしい。</p>	<p>成田市オンデマンド交通の運行区域につきましては、地域公共交通会議の承認を得て決定しております。</p> <p>現在の運行区域は、市域に限られておりますので、市外の隣接する病院等へ直接乗り入れることはできませんが、今後、公共交通全体の見直しに併せて、オンデマンド交通の運行方法やサービスのあり方を、地域公共交通会議において理解を得られるよう検討してまいります。</p>
8	<p>『地域の課題及び地域公共交通の課題』 成田市オンデマンド交通について、対象者を70歳以上に限定するのではなく、誰でも利用できるようにしてほしい。</p>	<p>成田市オンデマンド交通の対象年齢につきましては、高齢者の外出支援を目的として70歳以上に限定し、地域公共交通会議の承認を得て運行しております。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
		<p>今後、公共交通全体の見直しに併せて、交通弱者の支援を含め、オンデマンド交通の運行方法やサービスのあり方を、地域公共交通会議において理解を得られるよう検討してまいります。</p>
9	<p>『地域の課題及び地域公共交通の課題』 路線バス・タクシーについて、運転免許証を返納した人はバス代が半額、タクシー代が1割引になるが、高齢者を一律割引の対象にしてほしい。</p>	<p>運転免許証を返納された高齢者に対するサービスにつきましては、民間の交通事業者が行っておりますが、従前より運転免許証を所持していない高齢者やマイカー利用が出来ない高齢者への支援も重要な施策であると捉えております。</p> <p>公共交通全体の見直しを行う中で、路線バス・タクシーの利用料金の割引制度につきましても、交通事業者との協議を図りながら、高齢者の外出支援策の一つとして検討してまいります。</p>